

事業継続・新事業創出委員会議事録

1. 日 時 令和3年12月13日（月）14時00分～15時30分

2. 場 所 春日井商工会議所 4階 会議室E F

3. 出席者数	委員長	1名
	委員	7名
	副会頭	1名
	アドバイザー	1名
	オブザーバー	1名
	事務局	6名
	合 計	17名

4. 議 題

1. 令和3年度事業進捗状況について
2. 令和4年度重点実施項目について
3. 意見要望について
4. その他

5. 議 事

事務局 蟹江 貴昭

定刻に至り、開会を宣し三上委員長に挨拶を求める。

委員長 三上 努

挨拶を述べる。

事務局 蟹江 貴昭

委員会規程により、議長に三上委員長を指名し、議長就任を要請する。

（委員長 議長に就任）

議 長 三上 努

議事に入り、議題1. 令和3年度事業進捗状況について事務局に説明を求める。

事務局 油谷 美代子

資料に基づいて、議題1. 令和3年度事業進捗状況について11月30日現在の状況を説明。

- ①事業承継について支援状況や企画段階で明らかになった課題を説明。
- ②会員限定のWEBセミナーについて説明。（後に実演）
- ③事業承継相談の随時開催（案）について説明。
- ④事業承継アンケート調査について、今年度見送りし、次年度第20期に実施したい旨を説明。
- ⑤BCP策定支援について7月28日に行われたBCPワークショップについて報告。
- ⑥新事業創出・創業支援について、伴走型支援や窓口での補助金活用支援並び

に創業塾などの創業支援に関する状況を説明。

議長 三上 努

補足資料としてBCPワークショップで当社のBCPシートを作成したので本日資料として配布させていただいた。当社では本シートを作成したことで①従業員に喜ばれた、②表面に出すことで社内に共有し会社としてどんな行動を起こすのか明確化できた。針尾副委員長へその他報告を求める。

副委員長 針尾 智子

創業支援に関し、今年度春日井商工会議所女性会が40周年を迎えたが、その中で日商の女性起業家大賞を井立さんが受賞されたことが紹介された。女性会は女性の起業家を応援しようと考えている。井立委員へ概要の説明を求める。

委員 井立 薫

女性の起業を応援する取組みを女性会で来年度より実施する。起業したい女性と女性会をどう繋ぐか、創業塾などへもっと分かり易く発信していきたい。女性会の内部でも創業相談を受付できるような体制を作り、会議所と連携して進めていきたい。

議長 三上 努

次に、WEBセミナーについて事務局に説明を求める。

事務局 油谷 美代子

WEBセミナーについて、実際のPC画面を基に使用方法やログイン方法などを説明。

議長 三上 努

WEBセミナーを見たことがある方はいらっしゃるか。

委員 立磨 敏行

当社で利用したことがある。良いものではあるのもっと会員に見てもらえるような取組みが必要。

議長 三上 努

委員に意見を求めるが意見がない為

議題2. 令和4年度重点実施項目について事務局に説明を求める。

事務局 油谷 美代子

資料に基づいて令和4年度の重点実施項目(案)について説明。

議長 三上 努

重点実施項目やこれまでの議題の内容について各委員に意見を求める。

委員 立磨 敏行

当社も事業承継の時期にきている、「M&Aでも売れる会社なのか」、「価値のある会社なのか」について取引先金融機関に支援してもらったり公認会計士に相談したりしているが、遅々として進まない。理路整然とした経営のひな形を上手く作れるとスムーズな承継には良いのではないかと思う。

議長 三上 努

一社一社状況が違うので伴走型で個別の対応をすると良い。

委員 福島 成元

当社にM&Aに関するDMがたくさん来る。いつかは事業承継をやっていかなければならないが、計画的にやる必要がある。承継を受ける側の意思や真剣な想いが無いと承継は難しいと感じる。青年部活動を通じて意思を固めていただくなど、青年部が事業承継に関する一翼を担って育ってくれると一番良い。

委員 西脇 徹

親から譲り受けた会社は40年目で金型事業を撤退した。去年の同時期ぐらいに伴走型支援を受け、産廃から出た灰を埋め立てるのではなくアップサイクルする事業を進めている。メッセナゴヤに出展したことが縁で、大手企業と共同で開発を行うこととなった。

伴走型支援は良い事業なので、「どう活用するか」を十分周知する必要がある。どう知らせるか、どうやったら広がるかを徹底的にやる。活用しなければもったいない。

委員 小島 貴臣

積極的にお客さまに事業承継の話をしているが、その場ですぐできるものではなく、長期的な話となる。勉強されている方、全く知らない方もいる。事業承継についてまずは知ってもらう必要がある。現役、2代目が遠慮し合っている、難しい。どのように伝えていくのかが大切。例えば総会時などでWEBセミナーを流すと嫌でも見るので、こういった事から経営者の意識の変化に繋がるかもしれない。

新規事業について、事業をやりたいと考えた時にどこに相談すればよいか分からない方もいる、会員以外にもコンビニやイーアスなど人が集まる場所にチラシなどを置いておくのが良い。目線を変えてみると良いと思う。

委員 野間 峰彦

事業承継の点では、WEBセミナーは入り口としてはすごくよいが30分では入り口だけになるので、その後のフォローアップで伴走型を支援する必要がある。新事業や創業は現在の状況下では中々大変である、例えばHPを作るだけでは売上は上がらないので、その後どう販路開拓に繋げていくのかを伴走型などにて支援していくのが良いと思う。

委員 井立 薫

伴走型支援については、窓口にいけば良いのか。

事務局 油谷 美代子

窓口に来ていただき、相談内容等をヒアリングしながらどの先生が良いのか調整をして派遣を行う。

オブザーバー 田中 芳樹

事業承継については、行政で何が出来るのかを考えている。現在、商店街の事業承継に関する助成金はあるが、各社課題がそれぞれあるので対応できるようにしなければならないと考えている。

BCPに関しては中部大学を中心に結成されている、春日井勝川・南部地区タイムライン水防研究会というものがある。南部地区の水防に関する情報などを多くの企業に情報提供をできると良い。

オブザーバー 森岡 孝文

事業承継をする場合は跡継ぎが親族か第三者であるが、それぞれ問題が多い。親族の場合、ビジネス全体を教えるのは難しい。時代の動きがかなり変わってきているので、事業承継塾をやったらどうか。大学で事業承継をテーマに授業をやったが事業承継を機にやってみたい学生は何人かいる。家業のある学生もよく家の事について真剣に考えている。ニーズはしっかりある。親族と第三者は分けた方が良い。

第三者は店と生活圏である建物が一緒の場合、分離をしないといけないので難しい。どう分離したらよいかを考えている。

新規の創業について、専門家を紹介して終わることが多いのではないか。満足度調査までしたのかどうか、本当に相談者のニーズに合っているのか追っていく必要がある。

周知について、今までは広告に頼っていた。SNSを活用していくのなら誰がインフルエンサーになるのか、など検討しシステムを作った方が良い。DXの戦略については易しい事から行っていく必要がある。

副委員長 針尾 智子

私も第三者承継として内職市場を継ぐことになった。将来的には次も社内の中から後継者を考えていく必要がある。また、お客様から「廃業を考えているが従業員や事業の引継いでくれないか」などの相談がある。相談までどうやってたどり着かせるか、周知の方法を考える必要がある。

副会頭 高柳 通

事業としては素晴らしい事を行っている。個別支援の件数や結果を追求してPRすれば、本来の求める結果が出るのではないか。件数と結果を報告できるようにする必要がある。

雇用促進・人材育成委員会で、人材に関する話題で盛り上がった。事業承継で会社の価値は資産だけでなく人材も含めて考えないといけない。中小零細は人材が希薄のため、雇用促進と課題はリンクしている。新事業は流行りなので支援を行っていかなければならない。

議長 三上 努

広報について一番多く意見がでた。この1年間ラインやメルマガ、会報など情報発信を大きく変えてきたが足りていないようである。伴走型の件数やWEBセミナーの回数などを効果測定することと、委員からも非会員に向けて情報発信していくのが必要ではないか。青年部について事業承継の意見も出た青年部でも意見を出し合っており、社長としての感覚を養えるよき場ではないかと思う。

その他、報告について事務局に求める。

事務局 油谷 美代子

日本政策金融公庫の事業承継マッチング支援について動画を紹介。

議長 三上 努

議事 3. 意見要望について事務局に説明を求める。

事務局 蟹江 貴昭

資料を基に前回の意見要望の内容と今回の意見要望(案)について説明。

今回の意見要望について要望等あれば提出を求める。

その他 12/10 付の日本商工会議所イントラネットにて、令和 4 年度与党税制改正大綱が決定したので紹介。事業承継税制の特例措置について国会議員を通じて要望した内容が反映された結果となった。

議長 三上 努

委員へ意見を求める。事務局へ委員会の要望で行政庁に提出されなかったものについて理由等あれば教えていただきたい。

委員 野間 峰彦

ICT 助成金について先端設備等導入計画の認定を取らなくとも、対象とできないか。

事務局 蟹江 貴昭

委員会の要望で提出しなかったものに関して、特定創業事業の創業塾については各金融機関、市へ要望することではなく会議所で増やしていくこととし省略。循環型社会推進事業助成金については春日井市に事前に相談した際、難しいとのことと要望から外した旨を報告。

オブザーバー 田中 芳樹

要望の検討状況について、要望③HP 作成助成金は小規模事業者が作られる費用が大体 20 万円との事で現在の支援内容としている、引き上げについては要検討。

要望⑤については、財団が認めた補助事業に対して、市役所が上乘せする考えなので市が独自で補助を出せるか検討している。ICT 助成金に関しては先端設備等導入計画の認定を取らずに支援となると生産性向上が見込まれるのかどうかを担保できず第三者からの意見を求められても答えられないので難しい。

議長 三上 努

意見要望について、思いついたことがあれば、いつでも良いので事務局までお送りいただきますようお願いします。

4) その他

事務局よりジョブネット並びに新春経済講演会の紹介を行った。

議長 三上 努

針尾副委員長へ挨拶を求める。

副委員長 針尾 智子

挨拶を述べる。

事務局 油谷 美代子

会議所事業への理解と協力を依頼し閉会。

時に、15時30分